つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島 2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
URL
http://turusaki2.web.fc2.com/

総代就任奉告祭後に社殿前に集合する宮司と総代

吉備津彦命の偉業

祭神の吉備津彦命とはどんな神様だったのであろうか？

それは遙か西暦三〇〇年の頃、大和朝廷が全国を統一しつつある古墳時代に、第十代崇神天皇の命を受け、第七代孝霊天皇の第三皇子である吉備津彦命が朝廷の軍勢を率いて西道（吉備国）に赴き、当時の有力な豪族であった蟹梟帥を征伐して、この国を平定された。

蟹梟帥は後の当県が発祥の地とされる桃太郎伝説の温羅（鬼）、吉備津彦命は桃太郎に例えられ、桃太郎の昔話として成立している。

吉備津彦命は吉備国を平定後、武淳川別（崇神天皇の命を受け東海道を平定した四道将軍の一人）と共に出雲国造の祖である出雲振根を討ちその後、出雲国も大和朝廷の支配下となった。

平定任務を終えた吉備津彦命は、この地をお気に召し吉備津に居を構え、常に国内を巡って、作物の生育を細かに視察され、民衆に様々な技術を教えた事により、吉備津彦命は吉備国の民衆から讃えられ、二八一歳の長寿を保ったとされる。

その後、吉備津彦命を祀る吉備津神社が建立され、貞和六年（１３５０）に吉備津神社から吉備津彦命を当社に勧請して現在に至っている。

コロナ禍での秋まつり

八月二十二日に役員会を開催して今年の秋祭りについて協議した結果、岡山県に九月十二日まで「まん延防止等特別措置（後に緊急事態宣言）が発令されており、コロナウイルス感染拡大が懸念されるため、昨年に引き続き本年もやむなく神幸祭を中止し、秋季大祭の一部を変更する事となりましたのでお知らせ致します。

尚、神幸祭は中止しますが、秋季大祭にご参拝の氏子の皆さんに二基の神輿（みこし）をご覧頂きたく、境内に特別展示致します。

秋祭り当日境内に展示予定の２基の神輿

秋季大祭の予定

10月16日（土）

午前10時

鶴崎神社秋季大祭（供膳祭）

例年通り執行しますが、奉仕は総代のみ

境内に神輿２基を特別展示（午後７時30分まで）

午後７時

八幡神社秋季大祭

例年通り執行

表参道提灯点灯

境内に露店の出店あり（午後５時～９時）

10月17日（日）

神幸祭は中止

鶴崎神社大祭神札は幹事さんを通じ、例年通り全氏子に配布致します。

神殿を調度品で装飾

令和元年に竣工した参集殿の神殿に御簾（みす）と鶴丸紋の門帳（もんちょう）を取り付けて装飾を施しました。

神殿には天照大御神と鶴崎神社の分霊をお祀りしておりますので、暑い時や寒い時にはエアコン完備で、ご祈祷や神道家の霊祭もご奉仕できますので、ご希望の方はお申し出下さい。

祈祷所は椅子席で二十名程度収容する事が可能です。

調度品で装飾された参集殿神殿

略記を増刷

当社略記の内容と写真を一部刷新して増刷しました。ご朱印の方には無料で差し上げています。ご入用の方はお申し出下さい。

七五三詣り

本年は下記の年齢の子供が七五三です。ご祈祷は随時奉仕致しておりますが、予約をお願致します。

3歳　平成31年・令和元年生　男・女
5歳　平成29年生　男
7歳　平成27年生　女

七五三詣りは「かぞえ年」で行うのが本義ですが、諸事情により「満年齢」でもお参りされています。

神道Q&A

〈ご祈祷を受ける作法〉

【質問】

神社でご祈祷を受ける際には、どのような作法で行うのが良いでしょうか。

【答え】

神社でご祈祷を受けるときの作法には、立礼と坐礼の二種類があり、立札の場合には、祈願者は胡床などの腰掛けを用い、坐礼の場合には正座をします。

お祓いを受けるときや、神職が祝詞を奏上する際には、立礼では起立をしますが、坐礼では正座のままで頭を下げます。

服装については神前ですので、短パンやTシャツ、ノースリーブなどあまりラフな衣類は避け、清潔で華美にならないように心掛けましょう。

正座の起源については諸説がありますが、現在のような座り方が正座として定着してくるのは、そう古いことではありません。

江戸時代に入ってから畳敷の部屋の普及によって、一般的になってきました。それ以前は、胡座や片膝立てなどが座り方の基本だったようで、当時の絵巻物や塑像などから窺うことが出来ます。

正座をすると自ずから心身ともに引き締まった気持ちとなります。正座は、改まった席や晴れの舞台へと進み出る際の心構えを要求する座り方です。

また、畏まるという姿を表わす上で最もふさわしいものとして、現在の形が正座とされるようになったものともいえます。

すぐに立ち上がって動作をする上でも便利な姿勢であり、神様に奉仕する神職やご祈祷を受けるのに適した座り方ではないかと思います。

現在、洋間の普及により、家庭で正座をする機会が少なくなりましたがこの美しい座り方を忘れたくはないものです。

奉納品

祭神の御神号（額入り）
大分市城南北町
書廊　弥栄
書芸家　松本　重幸氏

大麻飾り
（松・二重叶結び・祈水晶）
勝田郡勝央町
輝魂セラピー
代表　光井　美穂氏

大麻飾り　八紘一宇
（菊・二重叶結び・祈水晶）
臼杵市野津町
太真道
大麻飾り職人　秋田　真介氏

円座
都窪郡早島町
株式会社永原兼太郎商店
代表取締役　永原　耕吉氏

総代の就任

令和三年六月二十七日、拝殿において総代が一人ずつ玉串を捧げて総代就任奉告祭を執行し、今後四年間の総代の安寧と神社の発展を祈った。

引き続き参集殿において総代会を開催し、総代就任と責任役員の選任が行われ、責任役員全員の留任が決まった。

総代長は改選要項により、早島地区の大森茂氏、副総代長は倉敷地区の古家野茂基氏、会計は永原耕吉氏、監事は早島地区から上田伸一氏、倉敷地区から野崎博明氏がそれぞれ留任した。

当社の責任役員及び総代の任期は神社規則で四年と定められているので、今後四年間氏子の代表として神社の祭祀や行事に参画し、大いに活躍頂きたい。

No.	役職	氏名	住所	担当地区	備考
1	責任役員・総代	大森　茂	早島町早島1464	小浜・頓行	総代長
2	責任役員・総代	古家野 茂基	倉敷市帯高826	帯高三丁割	副総代長
3	責任役員・総代	永原　耕吉	早島町早島2418-2	宮崎・下野	会計
4	責任役員・総代	寺山　俊雄	早島町早島899	市場	
5	責任役員・総代	大森　真澄	倉敷市中帯江290	中帯江	
6	責任役員・総代	板谷　章二	倉敷市西田429	西田・亀山	
7	責任役員・総代	渡辺　利明	早島町前潟257	船本	
8	責任役員・総代	岡本　冨士夫	早島町前潟1059-19	片田	
9	総代	野崎　博明	倉敷市早高411-5	早高北	監事
10	総代	上田　伸一	早島町前潟1001-4	久々原・三軒地下前潟	監事
11	総代	佐藤　博文	早島町前潟91	前潟	
12	総代	村上　鉅	倉敷市高須賀239	高須賀	
13	総代	小原　恵	倉敷市早高341-1	早高南	
14	総代	谷本　渉	早島町早島87-1	塩津	
15	総代	大原　茂	倉敷市五日市873	五日市	
16	総代	藤田 正志	早島町早島1814	長津・畑岡	
17	総代	坪井 徹臣	早島町早島2828-3	金田	
18	総代	藤原 賢次	早島町早島2341	弁財天	
19	総代	西田　覃	早島町早島1163	塩地・花町	
20	総代	澤田 順一	早島町早島571	無津	
21	総代	妹尾 洋一	倉敷市帯高301-2	帯高南古開	

祭事暦

十月十六（土）
［午前十時］鶴崎神社秋季大祭【供膳祭】
神輿の展示あり
［午後七時］八幡神社秋季大祭（露店あり）

十一月十五日を中心に　七五三祈祷

十一月二十三日（火）
［午後二時］新穀感謝祭

一月二日（日）［午後二時］年始祭

毎月一日［午前九時］月次祭

※月次祭はどなたでも参列出来ますので、お誘い合わせご参拝下さい。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております。

◆家内安全・交通安全・初宮詣・七五三詣・厄除・九星災難消除・安産・当病平癒・学業成就・その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・埋井祭・改装清祓・解体清祓・神葬祭・霊祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。